１．個人データ

職名：教授　　氏名：柿木哲哉　　学位：博士（工学）　　e-mail：kakinoki@kobe-kosen.ac.jp

２．教育・研究テーマ

【海水の流動と海浜変形に関する研究】

(1) これまでに行った主な研究：

1) 底面乱流境界層付近の流れ場特性について（数値計算＆室内実験）
　海底に形成されている微地形上の流れがどのようになっているのかについて画像解析やレーザー流速計などを用いて調べた。また、同様の状況を FEM を用いて数値計算し、その特性を明らかにした。

2) 閉鎖性内湾の干潟の地形変化特性について（数値計算＆現地観測）
　閉鎖性内湾に形成されている干潟の地形変化メカニズムを明らかにするため、地形測量、底質分布などを現地観測により調べた。また、潮流と波による干潟地形変化の数値計算を行い、その特性を明らかにした。

3) 農業集落排水事業整備状況と公共用水域の水質変化について（現地観測）
　農業集落排水が整備されることで、その周辺の公共用水域の水質がどのように改善されたのかについて調べた。

4) 運河における水質とその変動要因の季節変化について（現地観測）
　運河内の水質と流動場にどのような関係があり、また、日変動、季節変動等がどのように生じているかについて連続観測を行い、明らかにした。

5) 画像解析を用いた浮遊粒子の濃度＆粒度計測手法の確立（室内実験）
　海底面付近で生じている浮遊砂などの浮遊粒子を計測する方法の開発を行った。

(2) 現在進行中の研究

1) 砕波帯＆波打ち帯における底質移動について（室内実験＆現地観測）
　薄層中の底質移動の計測を行っている。

2) 強潮流下に設置された人工海浜周辺の流れ場について（数値計算＆現地観測）
　潮流の強い海域に設置された人工海浜の地形変化特性を数値計算や現地観測により調べている。

３．その他のデータ

（１）教育・研究技術相談可能分野

・水工水理学
・海岸工学
・流体＆環境計測（画像解析、ADV（現地＆実験室用）、波高計、多項目水質計等による連続観測）
・数値計算（波、流れ、地形）

（２）出前講義・公開講座，講演可能テーマ

・海の力学について
・

（３）キーワード

・水、環境、防災